

子どもたちが集めた廃食油が被災地の力になりました
— 令和8年熊本地震でのバイオ燃料による災害支援のご報告 —

地球環境防衛隊の活動に参加していただいている皆さん、いつも廃食油の回収にご協力いただき、ありがとうございます。

令和8年熊本地震では、大きな被害を受けた八代地域への災害支援として、3か所の消防署（鏡、氷川、みなと）に燃料が届けられ、宮崎からの応援も含めた緊急支援車両計20台以上に給油されました。

今回届けられた燃料には、皆さんが学校で回収してくれた廃食油からつくられたバイオ燃料130リットルが含まれています。

家庭で使い終わった油も、回収して精製することで、車両を動かす燃料として再び使うことができます。今回、皆さんが集めてくれた廃食油が、実際に被災地で活動する消防車や緊急支援車両を支え、被災地を助ける力になりました。

身近な取り組みが、環境を守るだけでなく、災害時に地域を支えることにもつながっています。

児童の皆さん、ご家庭の皆さま、先生方のご協力に心より感謝申し上げます。これからも廃食油を大切な地域のエネルギーとして活用していきますので、引き続き回収へのご協力をよろしくお願いいたします。

皆さんが集める一滴一滴が、まちを守る力になります。

令和8年8月



地球環境防衛隊
隊長 星子 桜文

